



南神戸パトロール10月

犯人と会話しない対策を～国際電話の利用休止・詐欺対策アプリの活用
SNS 上での投資や会ったことがない人からの金銭の要求はまず疑って

◎ 特殊詐欺被害に遭わないために

- ☆ 国際電話不取扱受付センターが行う、固定電話での国際電話の発信・着信を無償で休止するサービスを活用する。
- ☆ 相手への警告や録音機能等のついた被害防止機能付き電話機を使用する。
- ☆ 相手の身分を疑う。(一度電話を切り、正しい電話番号を調べる)
- ☆ お金を要求するメールや封書に記載された電話番号には絶対に電話をしない。
- ☆ 第三者に絶対に現金やキャッシュカードを渡さない。暗証番号を教えない。
- ☆ 宅配便、レターパックなどで現金を送らない。(現金を送ることはできません)
- ☆ 普段から、家族や地域でコミュニケーションを図り「特殊詐欺」の話をする。
- ☆ 電話の会話で「お金」「キャッシュカード」「暗証番号」「還付金」「警察官+LINE」の話がでたら、相手が誰であっても一度電話を切って家族や警察に相談する。

増加中

警察官を名乗り、現金を要求する詐欺の手口が増加しています。SNSやビデオ通話に移行するケースがあります。LINEを悪用した詐欺にご注意ください。

LINE ビデオ通話画面

警察官はゼッタイにこんなことしません

- × SNSでメッセージを送りません
- × お金を振り込ませる要求はしません
- × 逮捕状をSNSで見せたりしません



警察官がSNSで連絡 それ詐欺です!